

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

シエルグリーン

グループの名称

シエルグリーン化協議会

直近採択グループ番号

04-0601-0127

(グループ代表者)

代表者名

堀江 勝彦

代表者印

代表者所属先

株式会社ホリエ

代表者所在地

山形県西置賜郡飯豊町椿2529

代表者電話番号

0238-72-2602

(グループ事務局)

事務局事業者名

有限会社渡部製材所

事務局担当者名

渡部 ひとみ

印

事務局郵便番号

999-1113

事務局所在地

山形県西置賜郡飯豊町小白川1788-2

事務局電話番号

0238-75-2363

事務局FAX

0238-75-2367

事務局担当者E-mail

yoshie516@rmail.plala.or.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	シエルグリーン
2. グループの名称(必須)	シエルグリーン化協議会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0601-0127
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県
5. 結成年(必須)	2017 年
6. グループ代表者名(必須)	堀江 勝彦
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ホリエ
8. グループ代表者所在地(必須)	山形県西置賜郡飯豊町榑2529
9. グループ代表者電話番号(必須)	0238-72-2602
10. グループ事務局事業者名(必須)	有限会社渡部製材所
11. グループ事務局担当者名(必須)	渡部 ひとみ
12. グループ事務局郵便番号(必須)	999-1113
13. グループ事務局所在地(必須)	山形県西置賜郡飯豊町小白川1788-2
14. グループ事務局電話番号(必須)	0238-75-2363
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0238-75-2367
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	yoshie516@mail.plala.or.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	輸入材は原木供給事業者が海外であるため、合板は山形県産であるが出荷者が多岐にわたり特定が困難である。
II. 製材・集成材製造・合板製造	4	輸入材の合法木材は原木供給事業者・集成材工場が海外であり、事業者の登録を行っていません。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	7	
IV. プレカット	1	
V. 設計	1	
VI. 施工	5	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	山形県産材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度	1	国内
	山形県産集成材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度のうちやまがた県産材集成材	1	国内
	山形県産合板	山形県	やまがた県産材合板認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限165万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m <sup>2</sup>							
		申請が未確定	棟							
			m <sup>2</sup>							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	施工グループは、地域型住宅の候補物件が出てきたら直ちに事務局へ情報提供し、この情報通知の順位を基本として補助対象の割当をする。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m <sup>2</sup>	交付申請床面積		m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積		m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) シエルグリーン	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) シエルグリーン化協議会	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0601-0127	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地場産材の利用で省エネ性の優れた高気密、高断熱住宅(H25省エネ基準を満たすこと)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域に育まれた伝統を継承するとともに、時代にあったプレカット金物工法も導入し、より良い工法を模索する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	冬場の雪対策を考慮した屋根形状(切妻屋根を基調とする)、また配置計画を工夫する。主要構造材について、地場産材を過半使用する。	◎
④①～③の背景	当地は豪雪地域で冬期間、とても厳しい気象条件下にあり、その気候を知り尽くした地域の構成員と連携を図り、協議することで地域型住宅の供給体制を構築できる。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 隅柱、通し柱4寸角以上	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱材、サッシ等は高性能建材を推奨	○
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域型住宅の使用材料については、地域材のみならず、その他木材・建材等についても、可能な限りグループメンバー間での需要関係を構築する。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 価格面等で障害がある場合は、都度、検討する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・技術部会(住宅の性能、技術に関する事項) ・維持管理部会(維持管理計画、施主の相談対応) ・普及推進部会(見学会実施、HP等広報)	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 安定した供給体制を維持するため、事務局は木材・建材・設備に関する情報(供給可能量や価格など)を木材関連および流通メンバーより提供してもらい、施工グループへ伝達。施工グループは、地域型住宅の候補物件が出てきたら直ちに事務局へ情報提供。補助対象の割当は、事務局への情報通知の順位を基本とする。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: H25省エネ基準値を満たす。(設計図書、工事写真の確認)	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでの検査体制の確立、QPEXによる証明。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ統一見積書の整備。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工中の現場に『地域型住宅』のノボリを立てる。 ・現場の安全、作業環境、施工についてグループによるチェックを行う。 ・建設現場の整理整頓、現場周辺、現場内の動線確保をし安全に工事を進める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) シエルグリーン	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) シエルグリーン化協議会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0601-0127	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『いえかるて』を作成し、グループとして30年間の情報蓄積、維持する。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会会員の履歴情報サービス機関等を利用。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『長期優良住宅化リフォーム推進事業』で用意されている「現況検査チェックシート」等を活用。	○
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の協力のもと2回以上実施する。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画、施主の相談対応。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 倒産、廃業等にスムーズに引継がえるよう、各社が利用している協力業者リストを作成する。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 グループとして瑕疵保険へ加入する。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計、施工、仕様、コストに関する知識、技術の研修会を開催する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 供給棟数を増加できるような体制を作り上げる。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ全体で生産技術を提案し、いいもの同士を結び付け合理化する。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 3	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 3	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局による講習会参加の促進、管理を行う。	○
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ全体による技術勉強会の開催。新技術のマスターで導入実施する。	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ全体による技術勉強会の開催。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) シエルグリーン	(地域型住宅供給対象地域) 山形県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) シエルグリーン化協議会	(結成年) 2017年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0601-0127		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>主要構造材の過半使用</p> <p>□ 50%未満 ■ 50%以上 □ 80%以上</p> <p>主要構造材 土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: □ 使用していない ■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: □ 使用していない ■ 使用している</p> <p>原木供給 ↓ 製材、合板、集成材 ↓ プレカット ↓ 施工</p> <p>※当グループの地域材は「合法木材証明制度」、「山形県地域材認証制度」により認定された木材とする。</p>	◎
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p>□ ない ■ ある → 内容: 随時グループ内での情報交換、勉強会を開催する。</p> <p>□ ない ■ ある → 内容: 随時グループ内での情報交換、勉強会を開催する。</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 予定棟数の主要構造部の過半以上に使用するが、地域材の扱いに豊富な経験を持つ事業者が参加しており、供給体制・情報量において問題ないと思われる。</p>	○
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 4.5枚以上(1畳換算)</p> <p>■ 行っていない □ 行っている → 内容:</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 2枚以上(3×6換算)</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 2枚以上(3×6換算)</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 珪藻土の塗装</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 杉の羽目板を使用</p>	○
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	<p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 克雪を考慮した切妻屋根を基調とし、下見板張りのデザイン</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 冬期間の雪対策を考え、落雪の処理をできる住まいの提案</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 原風景を思わせる町並みの形成促進</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 1住宅1和室の提案促進</p>	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
カ. その他			
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
東日本大震災の復興に資する取組	品質・強度の安定した東北の構造部材を積極的に活用することにより、被災地の活性化を図る。	○	
平成28年熊本地震の復興に資する取組			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) シエルグリーン	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) シエルグリーン化協議会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0601-0127	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

地場産材を利用した、高性能住宅。

主として、高性能ガラスウール・セルローズファイバー・ロックウールを使用し低価格で断熱気密性能の優れた建物である。

豪雪地域で培ったノウハウで、性能+デザインを提案し地域に普及できるゼロエネルギー住宅である。